

## 日本薬学生連盟

薬学生の皆さんは、学年が上がるにつれて、卒業後の自分のキャリアを意識するようになることでしょう。日本薬学生連盟はこれまで、薬学生の多様なキャリアパスを考えるきっかけとなるよう、社会人の皆さんと対談し、その内容を紹介してきました。今回は、私たちの団体に所属する高学年（4年制薬学部4年生、6年制薬学部4～6年生）の学生や、団体のOB、OGである社会人の皆様を対象に、就職に関する意識調査を実施しました（2021年度広報統括理事 日本薬科大学5年生 山沢智）

多様性に富む  
卒業後の進路

アンケートはGoogleフォームを活用し、計39人から回答を得ました（図1）。それぞれの質問に対して、薬学生や団体OB、OGに任意で回答してもらいました。

まず、就職活動について希望進路や実際の進路を質問したところ、今回のアンケートでは病院就職（43%）が多いという結果になりました（図2）。その他企業の割合（21%）が次に多く、薬学部卒業後の進路が多様化している

## 薬学生や卒業生にアンケート調査

## 過半数が早期から就職活動

ことが分かりました。  
筆者は今回の調査で、「メディカル

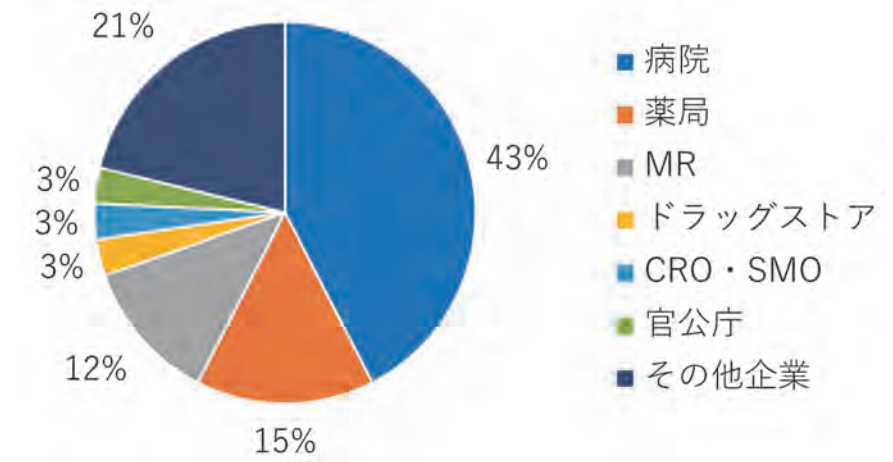


図2 進路

アフェアーズ」という職種があることを初めて知りました。製薬企業において、医薬品情報を中立的に分析することやアンメットメディカルニーズの解決に寄与することを職務としているそ

うです。

薬学部卒業後の活躍の場は、今後も広がりを見せていくと期待されます。

## 就職活動、低学年から意識

次に、就職活動を始めた時期について質問しました。5年生に進級するまでに何かしらの就職活動をスタートさせた人の割合が全体の60%以上を占め、自分の将来について、早い時期から考え始める人が多いことが分かりました（図3）

傾向として、6年制の場合、学生生活の半分が経過した頃と5年生進級後に就職活動を意識する学生が多いことが見受けられました。

また、就職活動として最初に始めた

ことを尋ねると、「インターンシップへの参加から始めた」という声が多く挙がりました（図4）

その他では「就職先を決める条件を挙げてから情報収集に努めた」という声や、「公務員の教養試験の対策をした」という声がありました。

中には、「就職サイトの登録から始めた」という声も複数あり、低学年から情報に触れられる環境を整えることから始めるのも、小さな一歩として取

ア

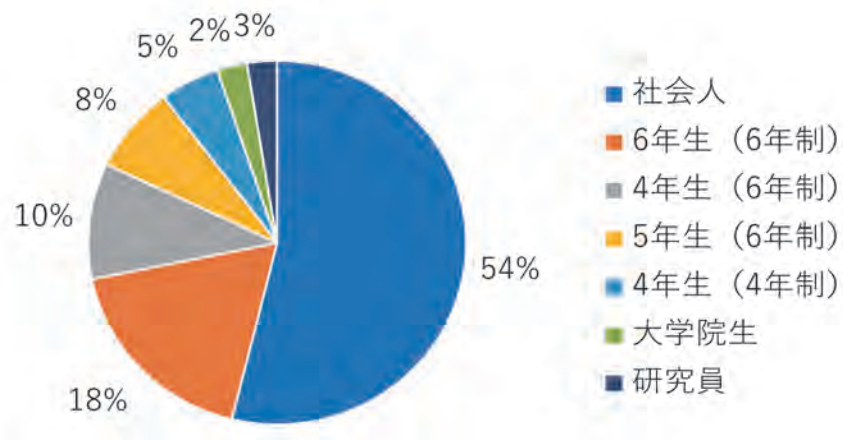


図1 回答者の所属構成

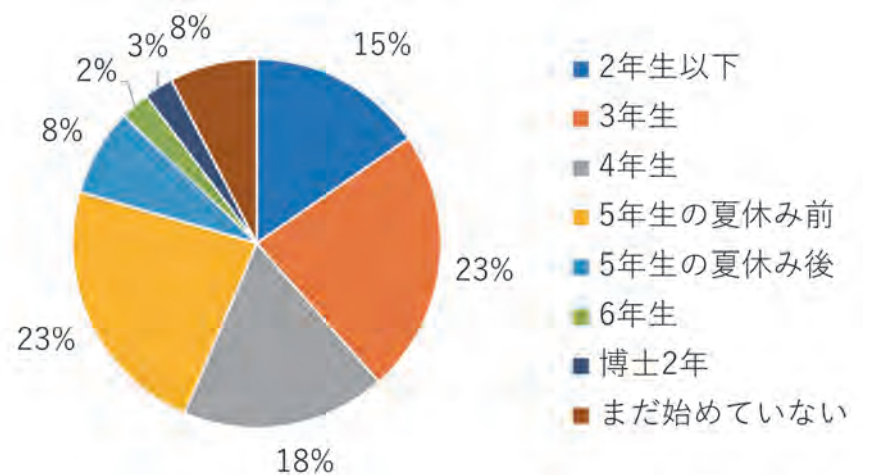


図3 いつから就職活動を始めましたか

「薬学生」  
必見

## 薬事法規・制度の内容を実務と紐付けられる！

薬局実務実習に行く前に  
知っておきたい 法律知識

〔著者〕白神 誠 A5判/203頁/定価 2,000 円＋税



薬学生が実務実習に向けて知っておくべき法律知識を会話形式でわかりやすく解説。実務の内容と関連する法規・制度を結びつけた学習ができる一冊。

## POINT

- 実務に沿った会話形式で解説することで、その場面を思い描きながら学べる。
- 項目ごとに要点をまとめた「Key points」を記載し、知識の整理ができる。

◎実務実習（事前学習）用のテキストとしてはもちろん、国試対策にも役立ちます。

## 【もくじ】

第1章 はじめに  
第2章 薬局実習その1  
第3章 薬局実習その2  
第4章 薬局実習が終わって  
第5章 病院実習  
第6章 実習が終わって



詳細・購入は  
こちら

薬事日報社 書籍のご注文は、オンラインショップ (<https://yakuji-shop.jp/>) または、書籍注文FAX03-3866-8408まで。